



# さくら 2011新春

発行  
社会福祉法人 東桜会  
第 30号  
〒420-0962  
静岡県葵区東 527 番地の 1  
特別養護老人ホーム 麻機園  
TEL 054(247)8739  
FAX 054(247)8640

## 新春の集い（元旦）



1月1日に「新春の集い」を行いました。寮母数名が着物を着ておとそを配ると、「おとそを飲むとお正月気分になれるね」「お正月は着物がいいね。昔はよく着たものだよ」と喜びの声が聞かれました。また、寮母が干支の「卯」にちなんで、出し物を披露し、普段と違う寮母の姿に喜んで頂けたと思います。お昼には、おせちとお雑煮を味わって頂きましたが、男性からは「おとそがもう少し欲しいなあ」と、おとそを飲みながらおせちを楽しみたかった様子でした。



午後は獅子舞姿の寮母が年賀状を配り、また、獅子舞に体の痛い場所を噛んでもらったりし  
麻機園 寮母 土屋綾乃

## ～ 書き初め（1月2日）～

2日は毎年恒例の「書き初めの会」を行いました。『卯』『初夢』『ゆめ』『松竹』の中から好きな字を選んで書いて頂きました。入所者の中には「手が思うように動かないから・・・」「字が上手く書けないから」と最初は消極的だった方も、書いているうちに「思ったよりも手が動いた」と言っている様子でした。いつも習字クラブに参加している方は、自分が納得するまで何度も練習してから本番に挑み、日頃の成果を発揮していました。

来園された際には、各居室入口に展示しているのでも是非ご覧ください。

麻機園 寮母 増田 絢



## 新人職員紹介



麻機園 寮母 佐藤尚哉

皆さんこんにちは。私が麻機園で働くようになってまだ数ヶ月。これまで介護とは無関係の業界からの転職でしたが、何とか日常業務を諸先輩方に教わりながらこなしています。外からみますと、一言で老人介護と括ってしまいがちですが、入所者の方々は一人ひとりの個性があり、人生を歩んで来られたのだと実際にこの仕事をして、実感しました。これからも介護という仕事について勉強していきたいと思っております。



麻機園 看護師 滝 秀子

初めまして。1月から麻機園の職員として、皆様の仲間入りをさせて頂きました。私は、昨年9月に還暦を迎えました。心機一転、今までの特別養護老人ホームでの看護経験を生かしていけたらと思っています。いつも笑顔で元気ハツラツ頑張ります！よろしくお願ひ致します。

# 『今、自分にできる事』

麻機園の寮母として、13年間入所者の介護をさせて頂きましたが、昨年の4月よりケアハウス桜花へ異動になりました。直接介護から、自立した方の支援へと、全く違ったケア内容となり、気持ちの切り替えが難しく、どこまでお手伝いしていいのかわからぬ毎日の毎日でした。

ただ環境は違えど、基本は変わりません。普段から施設全体の事や入居者の方々の体調・心情に気を配り、少しの変化にも心をとめ、早め早めの対応をしていく事が大切だと日々実感しています。

10ヶ月が過ぎ、桜花の業務にも慣れ、入居者の皆様にも色々教えて頂きながら、楽しく仕事ができるようになりました。これからも桜花の入居者の皆様が快適に、楽しく、安心して生活が送れるよう、自分に何が出来るのかを考えながら、様々な事を勉強・経験し、実践して行きたいと思っております。

ケアハウス桜花 寮母 丸山賀久

## 『支え』

私は、自宅で介護を必要とする高齢者や家族が、自立した生活を送れるよう援助をするケアマネージャーという仕事をしています。

先日、娘さんと二人暮らしをしている利用者さんが引っ越しをしました。車椅子の生活のため、マンション2階では自由に外出する事はできません。以前から娘さんは「いつもベッドの上で過ごしているから、少しでも外の景色や空気に触れさせてあげたい」とおっしゃっていました。そんな思いもあり、今回、1階の住まいに移る事になったのです。

今までも週1回デイサービスに行っていました。娘さん一人の力でもお母さんを外に連れて行けるよう、利用している各種サービスのチームが集まり話し合いをしました。新居は1階とは言え、玄関前のアプローチには段差があり、スロープを設置しても娘さん一人ではかなりの急な傾斜で危険を伴います。そこで電動アシストタイプの車椅子に変更すると、ご本人も安心して乗っている事ができるようになりました。そして、少しなら掴まって立っていられるという、もともとご本人の持っている機能に注目し、今まで付いているベッドの柵から、L字型の掴まりやすい手すりに取り替えました。立っている事が安定すれば、娘さんの介助で車椅子への乗り移りが可能になります。

しかし、いくら環境が整っても、ご本人の意欲が伴わなければそれは実現できません・・・普段の生活の中で、なるべく自分で手足を動かす機会を設けたり、ゆっくりお話を聴いたりする事で穏やかに過ごしてもらえよう配慮しました。

それから1ヶ月、「お母さんが手すりを支えに立っていられるようになりました。二人で出掛けられました」と嬉しい知らせがありました。

支えている皆の「外に出してあげたい」の願いは、ご本人の「外に行きたい」という気持ちと一緒に、両足を踏ん張って立って下さった事に繋がったのではないのでしょうか。ご本人の安定した生活は、周りの様々な人により成り立っています。優しい三人の娘さん、お医者さん、デイサービスでのお仲間などなど・・・そして、これからは新しく引っ越しされた地域の方々との交流も広がっていくでしょう。

私達は、利用者様が生活の中で、生きる意欲や喜びを見いだせるような支援者でありたいと思っています。

麻機園ケアプランサービス 介護支援専門員 芦口益枝



「笑顔」 池ヶ谷倫世

介護の仕事に就いて三年になりますが、最近とても強く感じている事があります。それは介護の仕事は、その方の個性をよく理解し、また、その方の長い人生やそれまでの生き方を尊重した上で心のふれあいや、信頼関係がとても重要な事です。

自立している方、認知症の方、言葉や体の自由を失われた方も、必ず心を持っていらつしやいます。悲しい事、嬉しい事、怒っている事、不安や辛さなどを自分のできる表現方法で一生懸命伝えてこられます。それをいかに感じ取り、その方のためになる介護ができるか・・・悩む事が多々あります。

日々の慌ただしい業務に追われ、どうしても自分の仕事を優先に考えてしまいがちになりますが、そんな時、入所者からの「ありがとう」の一言や、嬉しそうな笑顔、その方のちょっとした変化に励まされ、もっと頑張ろう！という元気をたくさん頂いています。

とても難しい仕事ですが、今とてもやりがいを感じています。これからも入所者の皆様から色々な事を学ばせて頂きながら、『いつも笑顔を保ち、はつらつと！』をモットーに、介護士として毎日少しずつ成長して行きたいと思っております。

デイサービスを無料で1日体験できます。ご利用希望の方は209-2619までお電話ください。